

第3回松ヶ崎小学校・米ノ庄小学校学校活性化協議会 議事録（要点筆記）

日時：令和6年9月25日（水） 19:00～20:45

場所：米ノ庄小学校 ランチルーム

出席者：

【委員】◎山本均 城代征俊 正木守 正木悦美 ○北川雅樹 高土友里加 中村雅治 小林千加子
大瀧剛 楠本誠 (◎会長 ○副会長)

【教育委員会】教育長 中田雅喜

事務局長 刀根和宜

事務局次長 金谷勝弘

教育総務課長 西浦有一

教育総務課 学校活性化推進室長 北畠和幸

教育総務課 学校活性化推進室主幹 清水尚美

教育総務課 学校活性化推進室主任 地主博一

学校マネジメントコーディネーター 田中伸之

【市議会】森遥香

1. あいさつ

会長

本日は、校名が議題に挙げられている。校名をどのように決定していくのかが決まらないと、次に進んでいかない。

皆さんの活発な議論をお願いしたい。

公開・非公開について

会長

本日の会議は、公開で進める。

（異議なし）

2. 準備部会の委員確認について

説明：事務局 資料『準備部会 名簿』（資料1）

- ・「地域・PTA 部会」の保護者枠について、3人から4人に変更する。
- ・名簿を作成して、後日配付する。

会長

この件について、ご意見はないか。

（意見なし）

3. 協議事項

(1) 校名について

事務局

第2回学校活性化協議会において、「第3回学校活性化協議会までに、それぞれの組織で意見を聞いてくる。」となっていましたので、ご報告をお願いいたします。

会長（松ヶ崎地区住民自治協議会）

9月15日の理事会にて、校名についての提案をした。住民自治協議会としては、「校名を公募する。」という方向でのまとめとなった。

委員（米ノ庄地区住民自治協議会）

9月17日の役員会において、広く地域の皆さんから公募に対する意見を聴取することの了解いただいた。詳細はこれから総務部会で詰めていくが、必要であれば各自治会長に協力いただけるようお願いした。

具体的なことを説明していないので、意見は出てこなかった。

委員（松ヶ崎小学校 PTA）

校名については、全く興味がない。「郷に入っては郷に従う」という感じ。「校名は、米ノ庄小学校ではないのか。」という意見が多いと感じている。

学校長（松ヶ崎小学校）

第2回学校活性化協議会を受けて、学校だよりやホームページにおいて、校名を公募することに対する意見を求めましたが、意見はありませんでした。

委員（米ノ庄小学校 PTA）

9月13日に、臨時 PTA 役員理事会を開いた。そこで、次のような意見が出された。

- ・「公募することが決まっているのか。」
- ・「公募という決め方に反対。」
- ・「米ノ庄小学校という名前を残したい。」

「公募イコール校名変更」と考える保護者が多かった。「米ノ庄小学校」も応募可能とする公募であることを確認させていただいた。

会長

それぞれの組織からの報告を受けて、ご意見をお伺いしたい。

委員

それぞれの地域が小学校を大切にしていることを感じた。それぞれの小学校の良いところを集めて、新しい小学校をつくっていいとよい。

校名については、「米ノ庄小学校という名前を残したい。」「新しい小学校の名前にするのが良い。」とい

う意見に分かれているように思う。公募となったとしても、「米ノ庄小学校」「松ヶ崎小学校」という案が出てきても良いのではないかな。

広く周知をして、広く意見を聞いて、皆で決めていく形が良いと思う。

委員

誰に聞いても、最初は「米ノ庄小学校が良いのではないかな。」と言われるが、対等統合であることを説明していくと、公募することに納得していただける方が多い。

委員

先程から出されているように、「松ヶ崎小学校」「米ノ庄小学校」という案も書いていただけるようにした上で、公募していけば良いのではないかな。

委員

「公募」の認識が少し違っていた。

校名をどのように決めていくのが良いのかについて、広く意見を聞くことを「公募」だと考えていた。その上で、校名の決定方法を準備部会で検討していくのではないかな。そうでないと、「準備部会で何をするのか？」となるのではないかな。

ただ、2月には校名を決めたいということだったので、かなり急いで詰めていかないといけない。

委員

保護者も子どもも、それぞれが「こうなってほしい」という想いを持っていると思う。公募することによって、その想いがこちらに伝わってくるのではないかなと思う。

公募で出された意見を、学校活性化協議会で精査したり、検討したりしていけば良いのではないかな。

会長

前回の学校活性化協議会において、内定という形で「校名を公募する」ことを確認していただいたと認識していた。その上で、各組織でご意見を聞いていただいたのではないかな。

公募の詳細については、準備部会で検討していくという流れだと考えていた。

委員

「公募」だけが先走っていくのは良くない。段階を踏んで、「公募」に決めていくことが大切だと思う。

教育委員会が進めやすい形にしていいただけたらどうか。

教育長

子どもたちを中心に置いて議論をしていただいている様子を拝見する中で、この学校活性化協議会を立ち上げさせていただいて良かったと感じています。また、お二人の住民自治協議会会長さんが、「地域の想いを大切にしていきたい。」「皆で決めていきたい。」という想いを持ってみえることがよく分かりました。今日のお話を受けて、市長部局に対して「ヒト・モノ・カネ」をしっかり要望していきたいと思います。

校名の決定方法については、本日の協議会でいただいたご意見をもとに、教育委員会で案を作って、準

備部会に提案させていただきたいと思います。その方が、準備部会で協議していただきやすいのではないのでしょうか。

教育委員会も皆さんと一緒に汗をかきたいと思っています。

会長

公募ということも含めて、準備部会でしっかり協議してもらえばよいと思う。

子どもたちが新しい学校の校名についてどのように思っているのか、きちんと聞き取りをしてほしい。校名を決める時の1つの判断材料にもなると思う。

委員

一番急がないといけないのが、総務部会になる。この場で、開催日時を決めてもらいたい。

(「松ヶ崎小学校・米ノ庄小学校学校活性化協議会 第1回総務部会」10月28日(月)15:00～に決定)

委員

総務部会の部会長は山本会長にお願いしたい。

事務局

東部中学校区では、「校名を変える」ということが先に決まり、公募が後から決まった形になりました。

教育委員会としては、広く意見を聞いて、皆で決めていただくのが良いのではないかと考えています。例えば、公募のような形で広く意見を聞いた結果、「松ヶ崎小学校」や「米ノ庄小学校」になるのであれば、説明責任が果たせるのではないのでしょうか。

本日は結論を出していただくことができませんでしたが、来年度の教職員人事や予算の観点からも、早急に決めていただく必要がありますので、なるべく早いご判断をお願いしたいと思います。

委員

「どの範囲で公募するのか」「一人何点まで応募できるのか」といったことがないと、話が進んでいかない。

次回の総務部会では、そういったことを提案していただきたい。

会長

東部中学校区の事例を参考にしながら、検討していくのが良いのではないか。

前回の学校活性化協議会の資料を説明してほしい。

説明：事務局 資料『校名の決定方法について』(資料5)

委員

この資料の松ヶ崎小学校・米ノ庄小学校版が、本日提案されるものと思っていた。

次回の総務部会には出していただけるのか。

委員

総務部会の前に、この資料の内容が広がっていくのは良くない。だから、順序立てていく必要があると言わせていただいた。

これらの内容は、総務部会に任せていただいてはどうか。

委員

協議会に提案されてくるのを待ちたいと思う。

会長

それでは、総務部会で決めていきたいと思う。

委員

総務部会の話ばかりになってしまっているが、他の部会についてはよかったのか。

地域・PTA 部会の開催時期は、いつ頃を考えているのか。

事務局

総務部会開催日からあまり期間を空けずに開催したいと考えています。

委員

部会長は誰にお願いするのか。

事務局

第1回地域・PTA 部会の際に、部会委員の互選により決定したいと考えています。

委員

先日の臨時 PTA 役員理事会では、参加者の方々に「公募イコール校名変更」というふうに認識されてしまったように思う。だから、「公募をするのは嫌だ。」「米ノ庄小学校の名前を残したい。」というご意見が出てきたのだと思う。

本日の協議会で話し合われたことを報告することになっている。保護者の皆さんは公募に決まったと思っているので、「公募と決まった訳ではありません。」「決め方も決まっていません。」ということは伝えてもよいか。

会長

それでは、「(公募ではないなら) 統合校の名前が米ノ庄小学校になる。」と理解されてしまうことはないか。後に「公募する」となった時に、「話が違う」となってしまいうかもしれない。

委員

声を上げている人の意見が大きく感じるが、全員が同じ意見だとは限らない。実際に、「米ノ庄小学校の名前が変わる。」と思っている卒業生もいる。

委員

一部の意見であることは理解している。ただ、保護者はとても気にしている。保護者の方々から出された意見を協議会で伝えることを約束した以上、協議会の報告をしないとイケない。

保護者の方々には、「総務部会で協議していただくので、もう少しお待ちください。」と伝えさせていた

会長

住民自治協議会会長同士で連携しながら、総務部会を進めてさせていただく。

事務局

それでは、校名の決定方法については、総務部会に送らせていただきます。

委員

米ノ庄コミュニティセンターが水風船大会を開催していただいたように、保護者同士や子ども同士がもっとコミュニケーションを取れると良いのではないかなと思う。

せっかくこのような場があるので、学校の話だけで終わらずに「こんなイベントがあるよ。」といった話もしていけると良い。

会長

「第15回 まつがさき港まつり」(10月29日(土)開催)の紹介

・松ヶ崎小学校・米ノ庄小学校の交流ブースを新しく設ける。

委員

「第3回 よねのマーケット」(10月29日(土)開催)の紹介

委員

松ヶ崎の力と米ノ庄の力を集結させて、新しい学校を盛り上げていきたい。早くそのような話に移っていききたい。統合校の開校までに、子ども同士だけでなく、保護者同士、地域同士が融合できるようなイベントをたくさん開くことで、統合のことを知らない人にも徐々に周知していきたい。

委員

活性化に繋がっていくと良い。

委員

米ノ庄の意見交流会では、「統合のモデル校になりたい。」という意見があった。お互いの痛みを分け合

委員

「米ノ庄ふれあいフェスタ」(11月9日(土)開催)の紹介

会長

両地区のこのパワーを、学校の統合に向けていきたいと思う。そして、市内でも羨ましがられるような新しい学校をつくっていききたい。

委員

統合後も、両地区が連携していくことが大切だと思う。

会長

子どもたちのためにも、大人同士が連携を図ったり、住民自治協議会同士が協力し合ったりして、新しいことを企画していくことも必要になってくる。

学校長

学校長同士も仲が良いことをアピールさせてください。

学校として何ができるのかを考えて、10月18日・23日に米ノ庄小学校の公開デーを設けて、松ヶ崎小学校の保護者の方々にもご案内させてもらいたいと考えています。今後も、どんどん企画していきたいと思います。

委員

保護者としては、とても有難い。

挨拶：教育長

先程、「統合のモデル校になりたい。」というご発言もありましたが、まさにその通りだと実感しています。

意見聴取会の際に地域の方が立て看板を作っていただいた話をする、他市町の方々から「松阪市を見に行きたい。」と言われます。また、本日の協議会では、「どうすれば統合校が地域の中で光り輝くのか。」という想いが込められた議論を拝見させていただきました。

本日の議論を、しっかりと市長部局にも伝えていきたいと思います。

今後も、議論していただくことがたくさん出てくると思います。教育委員会としても、皆さんと一緒にしっかり汗をかいていきたいと思っています。